

保育施設の感染症予防チェックリスト

記録年月日 年 月 日 記録者氏名

保育園名			
保育園所在地	TEL FAX Mail		
施設長名		感染対策担当者名	
職員数	名 うち、看護職員 名 調理員 名		
園児数	0歳児 名、1歳児 名、2歳児 名 3歳児 名、4歳児 名、5歳児 名 計_____名		
園医	内科： 歯科：		

1. 職員の健康管理

1	入職時および定期的に感染症に関する検査、予防接種歴、り患歴を確認をしている。 胸部X線検査（入職後は年1回） 肝炎ウイルス検査 予防接種歴（特にMRワクチン：麻しん、風しん） 感染症り患歴（麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜ）	☐良 ☐否 ☐良 ☐否 ☐良 ☐否 ☐良 ☐否
2	職員は日々の健康管理を行っている。（記録に残すことが望ましい） また、体調がすぐれないときは、相談や休養ができる体制がとれている。	☐良 ☐否
3	職員の体調が悪いときは医療機関へ受診させている。	☐良 ☐否
4	咳エチケットを守れている。	☐良 ☐否
5	事務室、休憩、食事の際には三密（密閉・密集・密接）を避け、必要時、マスクの着用や手洗いの励行等の感染対策を行っている。	☐良 ☐否
6	ボランティアや保育実習生を受入れる際は、予防接種歴、り患歴、健康状態（体温、自覚症状）をチェックし、記録に残している。	☐良 ☐否

2. 園児の健康管理

1	入園時、入園後に定期の健康診断を行っている。	☐良 ☐否
2	入園時および定期的に予防接種歴、り患歴を確認している。（母子手帳等で） ※特にMR、BCG、水痘、B型肝炎	☐良 ☐否
3	園児の日々の健康状態の観察・記録を行い、連絡帳等で保護者に知らせている。	☐良 ☐否

4	園全体の健康状態を職員で共有している。	☐ 良 ☐ 否
5	園児の健康状態に異常が見られた場合、責任者に報告し、必要に応じて部屋を分ける等の対策を講じている。	☐ 良 ☐ 否
6	感染性疾患が疑われる場合は、必要時、受診を勧奨し、診断がつくまたは症状が落ち着くまで登園を控えるよう保護者にお願いしている。	☐ 良 ☐ 否
7	保護者に対し、感染症の予防啓発（予防接種の重要性の啓発、手洗い指導、感染症流行情報の提供等）を行っている。	☐ 良 ☐ 否

3. 園での感染対策

(1) 職員の手指衛生（手洗い・手指消毒）

1	手洗いの際は、時計・指輪を外している。	☐ 良 ☐ 否
2	液体石けんを使用し、流水による手洗い（以下、正しい手洗い）をしている。 （固形石けんは使用していない）	☐ 良 ☐ 否
3	手洗い後は、ペーパータオルで拭いている。（共用タオルは使用していない）	☐ 良 ☐ 否
4	手洗い場では、自動水栓の設置等、感染防止策を可能な限り講じている。 また、できていない場合には、水を止める際はペーパータオルを使用し、水道栓に直接触れないようにしている。	☐ 良 ☐ 否
5	手洗いが難しい場合は、速乾性擦式手指消毒（アルコールによる手指消毒）等を使用し、手指の清潔を保っている。	☐ 良 ☐ 否
6	事務所入口、更衣室入口、パソコン等の共有備品の近くにアルコールを設置し、入室や共有備品を使用する前に手指消毒を行っている。	☐ 良 ☐ 否
7	液体石けん、アルコール消毒液は継ぎ足しをせず、容器ごと交換するか、容器を再利用する場合は、洗浄後しっかり乾燥させてから使用している。	☐ 良 ☐ 否
(参考) 手洗いのタイミング ・勤務の開始前、終了後 ・トイレに行った後 ・園児の排泄を手伝った後 ・屋外から室内に入る際（外遊び、散歩の後） ・食べ物（ミルク）を扱う前後 ・園児に食事を食べさせる（ミルクを含む）前後 ・鼻汁、唾、嘔吐物、血液等、体から出る分泌物に触った後 ・動物（ペット）に触った後 ・部屋、トイレ、おもちゃ等を掃除した後 ・食事の前 ・おむつ交換後 ・嘔吐物処理の後		

(2) 園児の手指の清潔

1	園児に正しい手洗い（液体石けんを使用し、流水で洗う）を指導している。（固形石けんは使用していない）	☐ 良 ☐ 否
2	手洗い後は、ペーパータオルまたは個人タオルで拭いている。（共有タオルは	☐ 良 ☐ 否

	使用していない)	
3	手洗いの際は、きちんと正しい手洗いができているか確認している。	☐ 良 ☐ 否
(参考) 手洗いのタイミング ・食事の前 ・トイレに行った後 ・屋外から室内に入る際（外遊び、散歩の後） ・動物（ペット）を触った後		

(3) マスク・手袋・エプロンなどの个人防护具の使用

1	職員のエプロン等のユニホームは、定期的に交換・洗濯し、清潔を保持している。	☐ 良 ☐ 否
2	血液等の体液、嘔吐物、排泄物に触れるときは、適切な防護具（マスク、手袋、エプロン等）を選択、使用している。	☐ 良 ☐ 否
3	个人防护具の着脱の方法を理解し、職員間で共有・実施できている。	☐ 良 ☐ 否
4	个人防护具使用後は、すみやかにはずし、はずした後は手指衛生をしている。	☐ 良 ☐ 否

(4) 保育場面に応じた感染対策

1) - 1 おむつ交換

1	おむつの処分方法は ☐ 園でまとめて処分（業者委託） ☐ 保護者持ち帰り	
2	おむつ交換の手順書があり、手順書にのっとり実施している。	☐ 良 ☐ 否
3	おむつ交換の手順書は、必要時すぐに見ることができるようになっている。	☐ 良 ☐ 否
4	おむつ交換の場所は決められており（おむつ交換台の利用等）、おむつ交換の場所（部屋）に手を洗う場所がある。	☐ 良 ☐ 否
5	おむつ交換の場所は食事する場所と交差しない等、清潔区域から離れている。	☐ 良 ☐ 否
6	交換後のおむつはビニール袋に密閉した後に蓋つき容器等に保管する等、すぐに処理をしている。保護者が持ち帰る場合は、袋に入れる等、感染対策を講じている。	☐ 良 ☐ 否
7	汚物を取り扱う動線は決まっている。 (清潔区域を通らない・園児のいる場所を通らない)	☐ 良 ☐ 否
8	下痢便時には、周囲への汚染を避けるため、使い捨てエプロン・手袋を着用し、使い捨てのおむつシート等を敷いて、おむつを交換している。	☐ 良 ☐ 否
9	汚物で汚染された場所は、適切な方法で清掃・消毒を行っている。	☐ 良 ☐ 否
10	おむつ交換後は、正しい手洗いを実施している。	☐ 良 ☐ 否

1) - 2 感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症対応）等の嘔吐物処理

1	嘔吐物・排泄物処理がすぐ行えるよう必要物品を準備し、使用している。	☐ 良 ☐ 否
2	処理に使用する消毒液は次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）である。	☐ 良 ☐ 否
3	嘔吐物等の処理や消毒の手順書があり、手順書にのっとり実施している。	☐ 良 ☐ 否

4	嘔吐物等の処理や消毒の手順書は、必要時すぐに見ることができるようになっている。	☐ 良 ☐ 否
5	嘔吐物・排泄物で汚染されたりネン類は、家庭での消毒方法等を伝えたうえで二重のビニール袋に密閉して家庭に返却している。	☐ 良 ☐ 否

※（参考）嘔吐物処理の準備、手順は、佐賀県「保育施設における感染症対策マニュアル」参照

2) 食事・おやつ、調乳の取り扱い

1	食事用テーブルは、食事前後に丁寧に拭いている。	☐ 良 ☐ 否
2	スプーン、コップ等の食器は共用していない。	☐ 良 ☐ 否
3	調乳を取扱う前には正しい手洗いを実施している。	☐ 良 ☐ 否
4	調乳室は清潔に保ち、調乳前には作業台を消毒用エタノールで清拭している。	☐ 良 ☐ 否
5	調乳時には清潔なエプロンを着用している。	☐ 良 ☐ 否
6	ミルク（乳児用調製粉乳）は開封日を記入し、衛生的に保管している。	☐ 良 ☐ 否
7	食中毒対策として 70℃以上のお湯で調乳している。	☐ 良 ☐ 否
8	使用しなかった調乳済のミルクはただちに破棄している。	☐ 良 ☐ 否
9	調乳に使用した物品、乳首、哺乳瓶等は使用后、決められた洗浄・消毒を行い、衛生的に保管している。	☐ 良 ☐ 否

4. 施設の衛生管理

(1) 換気

1	2003 年以降に建てられた施設では、24 時間換気システムのスイッチは常時、入っている。	☐ 良 ☐ 否 ☐ 対象外
2	2 方向以上の窓を開け、空気の流れをつくり、1 時間に 1 回、5 分程度の換気を行っている。（窓が 1 方向のみの場合は、ドアやほかの窓を開けるか、換気の時間を長めにとる。）	☐ 良 ☐ 否
3	十分な換気が確保できない場合には、扇風機やサーキュレーター、HEPA フィルター付き空気清浄機の導入等、換気のための補完的な措置を講じている。	☐ 良 ☐ 否
4	十分な換気ができているか換気の目安を客観的に知るために CO2 モニターを導入している。	☐ 良 ☐ 否

(2) 施設の清潔の保持

1) おもちゃの管理

1	口にするおもちゃは使用した都度、湯等で洗い（必要時消毒液を使用）、その後乾燥させている。	☐ 良 ☐ 否
2	口にしないおもちゃは適宜、水拭きか水洗いを実施している。	☐ 良 ☐ 否
3	午前・午後とでおもちゃの交換を行っている。	☐ 良 ☐ 否

2) 歯ブラシの管理

1	歯ブラシは個人専用のものを使用している。	☐ 良 ☐ 否
2	使用後は個別に水で十分にすすぎ、ブラシを上にして清潔な場所で乾燥させている。	☐ 良 ☐ 否
3	歯ブラシの保管は、個別保管するか他の児のものと接触しないように管理している。	☐ 良 ☐ 否

3) 寝具の管理

1	衛生的な寝具を使用している。1週間に1回の自宅での洗濯を促している。	☐ 良 ☐ 否
2	定期的に布団を乾燥させている。	☐ 良 ☐ 否
3	個別の寝具には布団カバーをかけて使用している。	☐ 良 ☐ 否
4	尿、糞便、嘔吐物等で汚染された場合には、家庭での消毒方法等を伝え、うえでビニール袋等に密閉して家庭に返却している。	☐ 良 ☐ 否

4) 施設内の清掃

1	消毒液は、園児の手の届かないところに保管している。	☐ 良 ☐ 否
---	---------------------------	---

	場所	清潔方法	消毒液※ ¹	
トイレ				
2	便器	毎日、清掃 (有症者発生時は次亜塩素酸ナトリウムで消毒)	○	☐ 良 ☐ 否
3	おまる	使用后、清掃、消毒(次亜塩素酸ナトリウム)	○	☐ 良 ☐ 否
4	おむつの交換場所 (シート)	使い捨てが望ましいが、使い捨てでない場合は、汚物は取り除き、消毒し、洗濯	○	☐ 良 ☐ 否
汚物処理室				
5	汚物処理槽、汚物入れ 周辺	毎日、清掃、次亜塩素酸ナトリウムで消毒	○	☐ 良 ☐ 否
6	床	毎日、清掃。汚染時は、次亜塩素酸ナトリウムで消毒	△	☐ 良 ☐ 否
7	ドアノブ	毎日、清掃、消毒	○	☐ 良 ☐ 否

血液、嘔吐物、排泄物で汚染された場所・物は、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒が必要

※1 消毒液：○必要 △必要に応じ ×原則的に必要なし

※(参考) 他場所の清掃については、佐賀県「保育施設における感染対策マニュアル」参照

(3) 使用水の衛生管理

1	使用水は ☐市町上水の直結である ☐市町上水で貯水槽がある (2 のみ回答) ☐井戸水を使用している (2 以下すべて回答)	
2	貯水槽がある場合、貯水槽を年 1 回以上専門の業者に委託して清掃を行い、管理記録は 3 年間保管している。	☐ 良 ☐ 否
3	井戸水を使用している場合は、最低年 1 回以上水質調査を行い、水質検査結果は 5 年間保管している。	☐ 良 ☐ 否

(4) プールの衛生管理

1	プール本体の清掃を行っている。	☐ 良 ☐ 否
2	プール (簡易ミニプール含む) の遊離塩素濃度は、0.4～1.0 mg/L に保つよう、毎時間水質検査を実施している。	☐ 良 ☐ 否
3	プールに入る前はシャワーで体 (特におしり) を洗っている。	☐ 良 ☐ 否
4	排泄が自立していない乳幼児のプール利用は個別のプールを用いる等、他者と水を共有しないようにしている。	☐ 良 ☐ 否

(5) 園庭・砂場の衛生管理

1	動物の糞の混入がないように対処している。(夜間、シートの使用等)	☐ 良 ☐ 否
2	砂場は定期的に掘り起こし、砂全体を日光により消毒している。	☐ 良 ☐ 否
3	水溜まりを作らないように屋外におもちゃやじょうろを放置せず、使用後は片付けている。	☐ 良 ☐ 否

(6) 動物の飼育施設

1	衛生的に飼育している。 飼育動物：	☐ 良 ☐ 否
2	動物の糞尿の清掃は毎日行っている。	☐ 良 ☐ 否
3	動物由来の感染症があることを知っている。	☐ 良 ☐ 否

5. 感染症対策の体制整備

1	感染症対策手順書 (マニュアル) を作成し、定期的に見直しを行っている。 感染症対策手順書 (マニュアル) おむつ交換手順書 (マニュアル) 嘔吐物処理手順書 (マニュアル)	☐ 良 ☐ 否 ☐ 良 ☐ 否 ☐ 良 ☐ 否
2	各マニュアルは、全職員に周知している。	☐ 良 ☐ 否
3	感染症対策マニュアルは、必要時、すぐに使用できるように手に取りやすい場所に保管されている。	☐ 良 ☐ 否
4	手洗い・手指消毒、おむつ交換、嘔吐物処理等、感染症に対する職員研修を定期的に行っている。(集団発生時の対応含む) (研修は全職員参加を目標とし、欠席者には内容を共有している。)	☐ 良 ☐ 否

5	感染症・食中毒を疑う場合は、園医に相談している。	☐ 良 ☐ 否
6	保育所内での感染を疑った際、職員からの報告・連絡方法（保護者への連絡含む）や、園医へ相談ができる体制を整えている。（休日・夜間を含む）	☐ 良 ☐ 否
7	職員は、疾患ごとの登園の目安を理解している。または、必要時すぐに確認することができるようになっている。	☐ 良 ☐ 否
8	集団発生（10名以上または施設の半数以上の発生）が疑われる場合には、速やかに市町の社会福祉施設等主管課および保健福祉事務所へ感染状況を報告している。	☐ 良 ☐ 否
9	園での感染症流行時には、三密（密集・密接・密閉）を避けるために人の集まる行事の中止や延期を検討している。	☐ 良 ☐ 否
10	定期的に国内外の感染症発生動向について情報収集を行っている。（佐賀県感染症発生動向調査週報等）	☐ 良 ☐ 否

6. その他の特記事項
